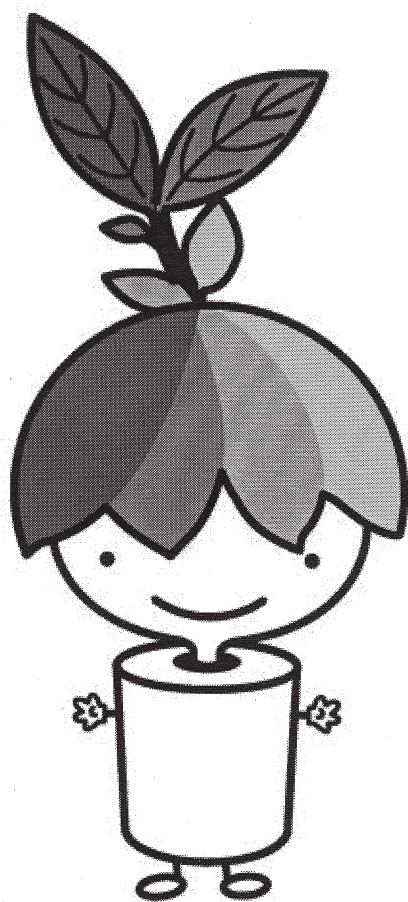


平成19年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成20年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部
一般廃棄物課

目次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成19年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	4
2 福島県のごみ処理の状況	7
(1) ごみの排出量について	7
(2) ごみの分別収集状況について	12
(3) ごみの処理状況について	12
(4) リサイクル率について	14
(5) 最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
(1) 水洗化の状況について	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
(3) 浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 平成19年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成19年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 平成19年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 平成19年度ごみ処理の概要	34
5 平成19年度ごみ搬入量の内訳	37
6 平成19年度ごみ処理量の内訳	42
7 平成19年度資源化量の内訳	44
8 平成19年度ごみ処理手数料の状況(生活系)	48
9 平成19年度ごみ処理手数料の状況(事業系)	56
10 平成19年度ごみの収集運搬体制の状況(生活系)	64
11 平成19年度ごみの収集運搬体制の状況(事業系)	73
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	82
13 市町村における生ごみ処理機(コンポスト容器も含む)普及促進策	83
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	87
15 平成19年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧(国費による助成事業)	88
16 平成19年度水洗化人口等の状況	89
17 平成19年度し尿処理の状況	91
第3編 資料編	93
1 一般廃棄物処理施設の状況	94
2 環境美化条例等制定状況	110
3 市町村廃棄物関係担当課一覧	112
4 一部事務組合一覧	113

(注)本冊子の内容は福島県の一般廃棄物課のホームページ(産業廃棄物課・不法投棄対策室と共同)より閲覧・ダウンロードできます。(URL: <http://www.pref.fukushima.jp/recycle/>)

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成19年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成19年10月1日現在の福島県の人口は2,076,623人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成20年3月31日現在では、13市32町15村の60市町村、14組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成19年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約302億円で、前年度(約254億円)と比較すると約19%増加しています。

表-1 平成19年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 25,189,553			し尿処理経費 5,015,189		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
30,204,742 (25,444,534)	6,806,779 (3,266,266)	17,634,789 (17,333,513)	747,985 (670,914)	1,001,559 (201,579)	3,708,157 (3,855,077)	305,473 (117,185)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成18年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成19年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は630、その従業員数は4,753人となっており、前年度と比較すると、いわき市で中間処理業者が減少したため、特に従業員数が減っています。

表-2 平成19年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
630 (638)	506 (516)	97 (100)	27 (22)	4,753 (5,427)	4,421 (4,354)	612 (1,078)	49 (11)

(注1)()内は平成18年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成19年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は116施設で、ごみ処理施設が67施設、し尿処理施設が26施設、一般廃棄物最終処分場が23施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成19年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	24	3,186 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	476 (t/日)
	資源化施設	28	332.3 (t/日)
	その他の施設	1	5 (t/日)
	小計	67	
し尿処理施設	し尿処理施設	24	2,221 (kℓ/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口5,540人
	小計	26	
一般廃棄物最終処分場		23	残余容量 1,642千㎡ 残余年数 14.8年
合計		116	

(注)残余年数は、残余容量を平成19年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものです。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

生活系ごみは、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割以上の市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、すべての市町村で有料化されています。

表-4 平成19年度ごみ処理有料化の状況(直接搬入は除く)(単位:市町村数)

種類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.0%)	55 (91.7%)
不燃ごみ		26 (43.3%)	55 (91.7%)
資源ごみ	紙	4 (6.7%)	20 (33.3%)
	金属	14 (23.3%)	25 (41.7%)
	ガラス	14 (23.3%)	25 (41.7%)
	ペットボトル	14 (23.3%)	25 (41.7%)
	プラスチック	15 (25.0%)	25 (41.7%)

	布類	0 (0%)	4 (6.7%)
	生ごみ	0 (0%)	1 (1.7%)
	その他	0 (0%)	1 (1.7%)
その他収集ごみ		1 (1.7%)	5 (8.3%)
粗大ごみ		28 (46.7%)	36 (60.0%)

(注1)割合の分母は平成19年度末現在の市町村数で60です。

(注2)資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には白色トレイや廃食油などがあります。

(注3)「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表一五 平成19年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	54 (90.0%)	6 (10.0%)	0
浄化槽汚泥	55 (91.7%)	5 (8.3%)	0

(注)割合の分母は平成19年度末現在の市町村数で60です。(全市町村でし尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成14年度から平成22年度の9カ年を計画期間とする計画として平成14年3月に策定しましたが、社会経済環境等の変化等に対応するため、中間年度である平成17年度(平成18年3月)に循環型社会づくりに向けた取組みを一層強化するという基本的な考えのもとに見直しを行いました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①大量消費・大量廃棄型社会から、環境への負荷ができる限り低減された循環型社会へ転換するためには、ライフスタイルを変えていくことが必要です。
- ②ごみの排出抑制を推進するため、ごみ処理有料化の導入等について積極的に推進することが必要です。
- ③リサイクルを推進するためには、廃棄物処理法及び各種リサイクル法等の施策の円滑な実施と、各実施主体による一体的な推進体制を構築することが必要です。
- ④災害時等一度に大量の廃棄物が発生する場合には、近隣の市町村等が連携を密にしながら処理していく必要があることから、その計画や処理体制づくりが必要です。

イ 基本方針

ごみ処理に関する課題を踏まえ、次の3つの柱をごみ減量化・リサイクルの目標の基本方針とし、県民、事業者、市町村及び県はそれぞれの役割分担のもとで目標実現のために取り組んでいくこととします。

- ①ごみ発生の抑制（ごみとなる前の取組み）
- ②リサイクルの推進（ごみ資源化の取組み）
- ③資源化施設の整備（ごみとして収集した後の取組み）

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成22年度における目標値）
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

① 1人1日当たりのごみの排出量	930g/人・日
② リサイクル率	26%
③ 1日当たりの最終処分量	225t/日

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

①ごみ発生抑制（ごみとなる前の取組み）

- 意識改革の推進
- 過剰包装防止対策の実施
- 不用品交換事業の推進
- 自家処理の推進
- 事業系ごみの減量化対策
- ごみ処理有料化の推進

②リサイクルの推進（ごみ資源化の取組み）

- 各種リサイクル法への対応
- 集団回収の促進
- リサイクル製品の製造促進
- リサイクル製品等の使用促進

③資源化施設等の整備（ごみとして収集した後の取組み）

- 資源化施設の整備
- 溶融スラグの再生利用
- たい肥化施設の整備
- 施設の整備手法の調査研究
- 再生事業者との連携

《ごみ排出量の考え方について》

国におけるごみ排出量の定義が平成17年度実績のとりまとめから次のとおり変更されたことから、本冊子においても新たな定義（新基準）でとりまとめることとします。

旧： 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 自家処理量

新： 収集ごみ量 + 直接搬入量 + 集団回収量

また、過去の実績を表記する部分についても、新基準に換算した値により表記することとしました。

なお、福島県廃棄物処理計画における1人1日当たりのごみ排出量の平成22年度目標値930gは、旧基準によるものです。

2 福島県のごみ処理の状況

平成19年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

813,723 (t/年) 【前年度 837,965 t/年】

前年度と比較すると 24,242 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量

1,071 (g/人・日) 【前年度 1,095 g/人・日】

前年度と比較すると 24 g 減少していますが、目標値と比較すると 141 g オーバーしています。

2 リサイクル率

16.3 (%) 【前年度 15.5 %】

前年度と比較すると 0.8 ポイント伸びていますが、目標値と比較すると 9.7 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

109,387 (t/年) 【前年度 118,611 t/年】

前年度と比較すると 9,224 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量

299 (t/日) 【前年度 325 t/日】

前年度と比較すると 26 t 減少していますが、目標値と比較すると 74 t オーバーしています。

(1) ごみの排出量について

平成19年度におけるごみの総排出量は 813,723 t で、1人1日当たりに換算すると 1,071 g となります。これを全国平均の 1,089 g と比較すると 18 g 少なくなっていますが、その差は過去と比べて最も小さくなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 579,658 t、事業系ごみが 234,065 t と、前年度と同様、事業系ごみが約 1/3 を占めています。

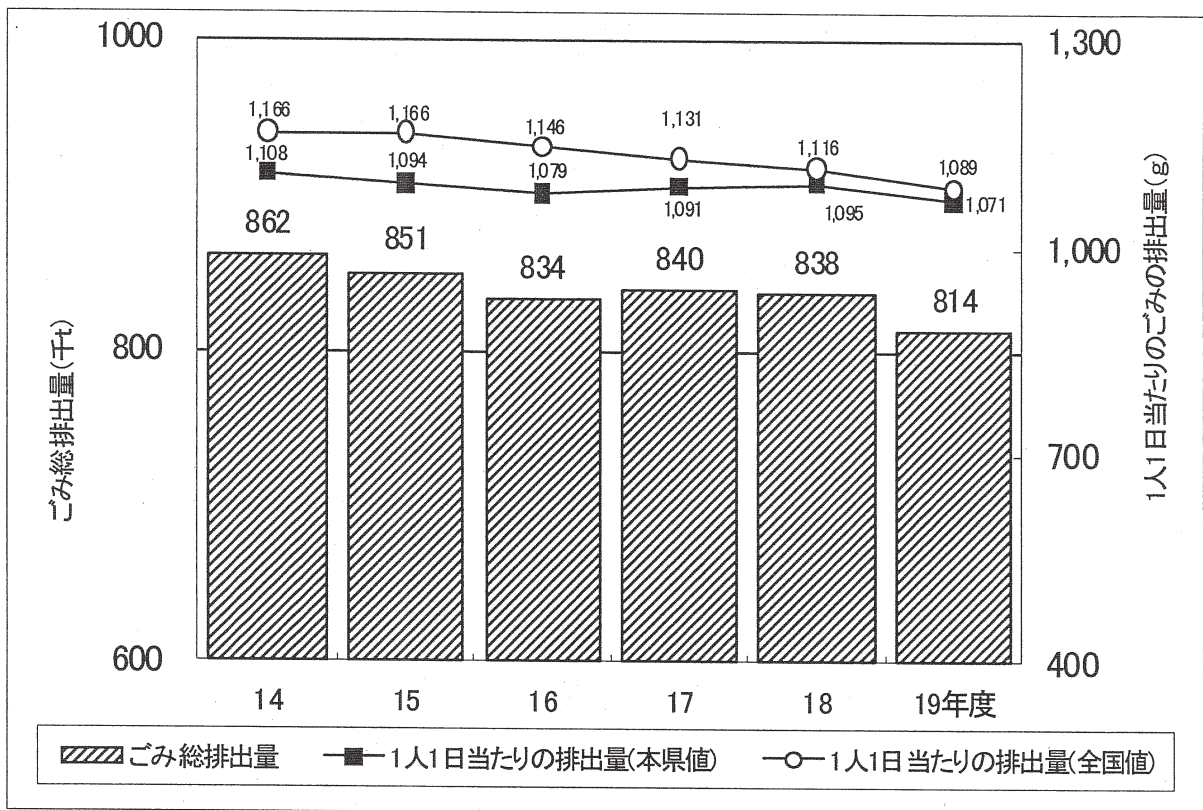


図-1 ごみの排出量の推移

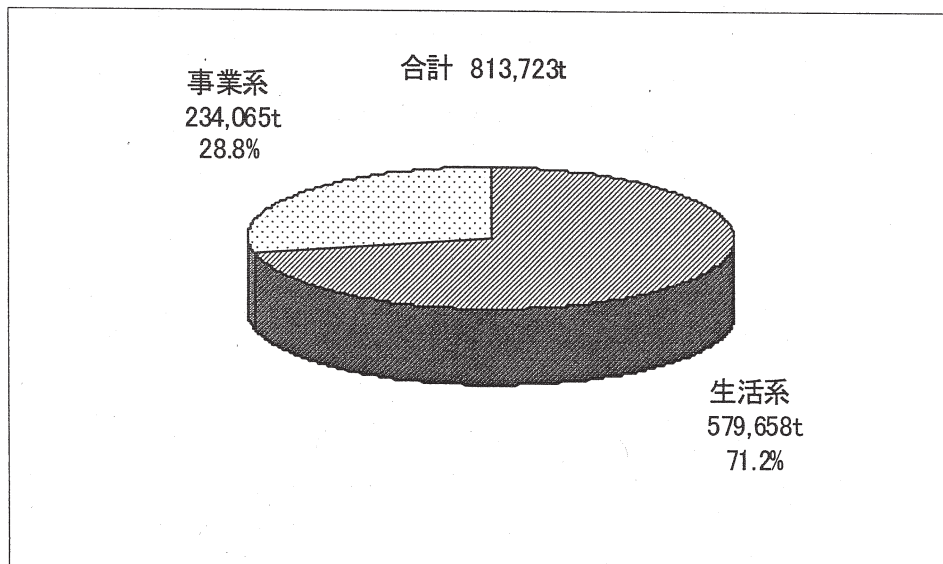


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別 1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成18年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりで、会津・南会津地域には排出量の多い市町村が見られる傾向にあります。これは観光客による影響もあると考えられます。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H19年度	H18年度	順位	市町村名	対前年度比	H19年度	H18年度
1	喜多方市	-136	947	1,084	31	川俣町	-6	924	930
2	桑折町	-101	1,079	1,181	32	石川町	-6	832	837
3	玉川村	-99	696	795	33	富岡町	-5	897	902
4	北塩原村	-72	1,209	1,280	34	南相馬市	-4	996	999
5	天栄村	-65	740	805	35	葛尾村	-3	299	302
6	白河市	-63	1,007	1,070	36	浪江町	-2	764	766
7	只見町	-61	964	1,025	37	小野町	-1	725	726
8	飯野町	-53	878	931	38	猪苗代町	4	1,084	1,080
9	檜枝岐村	-52	1,368	1,420	39	西会津町	5	679	674
10	南会津町	-50	1,073	1,122	40	大熊町	6	859	853
11	いわき市	-49	1,227	1,276	41	中島村	9	412	403
12	矢祭町	-43	515	558	42	湯川村	10	689	680
13	国見町	-39	987	1,026	43	鮫川村	12	388	377
14	相馬市	-35	1,107	1,142	44	泉崎村	14	560	546
15	棚倉町	-28	836	864	45	浅川町	15	735	720
16	矢吹町	-26	795	821	46	下郷町	17	968	951
17	福島市	-24	1,229	1,253	47	新地町	19	562	543
18	会津若松市	-24	1,193	1,216	48	田村市	19	635	615
19	広野町	-22	735	758	49	会津坂下町	20	851	831
20	伊達市	-21	1,048	1,069	50	磐梯町	20	920	900
21	本宮市	-21	815	836	51	金山町	20	722	701
22	須賀川市	-21	933	954	52	古殿町	24	704	680
23	二本松市	-19	813	832	53	川内村	24	445	420
24	大玉村	-19	673	692	54	会津美里町	25	858	833
25	郡山市	-16	1,280	1,297	55	檜葉町	26	767	741
26	飯舘村	-16	307	323	56	塙町	43	841	798
27	鏡石町	-12	923	934	57	昭和村	44	642	598
28	双葉町	-7	676	684	58	三島町	55	841	786
29	平田村	-7	504	512	59	西郷村	83	871	788
30	柳津町	-7	671	678	60	三春町	104	910	806

(注1) 対前年度の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

(注2) 合併した市町村における過去の数値については、旧市町村分を合算して集計しています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量(単位:g)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	813
2	須賀川市	933
3	喜多方市	947
4	南相馬市	996
5	白河市	1,007
6	伊達市	1,048
7	会津若松市	1,193
8	いわき市	1,227
9	福島市	1,229
10	郡山市	1,280
	平均	1,164

(2) 人口1万人~5万人未満
(21市町村)

順位	市町村名	排出量
1	田村市	635
2	小野町	725
3	浪江町	764
4	矢吹町	795
5	本宮市	815
6	石川町	832
7	棚倉町	836
8	塙町	841
9	会津坂下町	851
10	会津美里町	858
11	大熊町	859
12	西郷村	871
13	富岡町	897
14	三春町	910
15	鏡石町	923
16	川俣町	924
17	国見町	987
18	南会津町	1,073
19	桑折町	1,079
20	猪苗代町	1,084
21	相馬市	1,107
	平均	880

(3) 人口5千人~1万人未満
(18町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	307
2	中島村	412
3	平田村	504
4	矢祭町	515
5	泉崎村	560
6	新地町	562
7	大玉村	673
8	双葉町	676
9	西会津町	679
10	玉川村	696
11	古殿町	704
12	浅川町	735
13	広野町	735
14	天栄村	740
15	榑葉町	767
16	飯野町	878
17	只見町	964
18	下郷町	968
	平均	669

(4) 人口5千人未満
(11町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	299
2	鮫川村	388
3	川内村	445
4	昭和村	642
5	柳津町	671
6	湯川村	689
7	金山町	722
8	三島町	841
9	磐梯町	920
10	北塩原村	1,209
11	檜枝岐村	1,368
	平均	709

(5) 全市町村
(60市町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	299
2	飯館村	307
3	鮫川村	388
4	中島村	412
5	川内村	445
6	平田村	504
7	矢祭町	515
8	泉崎村	560
9	新地町	562
10	田村市	635
11	昭和村	642
12	柳津町	671
13	大玉村	673
14	双葉町	676
15	西会津町	679
16	湯川村	689
17	玉川村	696
18	古殿町	704
19	金山町	722
20	小野町	725
21	浅川町	735
22	広野町	735
23	天栄村	740
24	浪江町	764
25	榑葉町	767
26	矢吹町	795
27	二本松市	813
28	本宮市	815
29	石川町	832
30	棚倉町	836
31	三島町	841
32	塙町	841
33	会津坂下町	851
34	会津美里町	858
35	大熊町	859
36	西郷村	871
37	飯野町	878
38	富岡町	897
39	三春町	910
40	磐梯町	920
41	鏡石町	923
42	川俣町	924
43	須賀川市	933
44	喜多方市	947
45	只見町	964
46	下郷町	968
47	国見町	987
48	南相馬市	996
49	白河市	1,007
50	伊達市	1,048
51	南会津町	1,073
52	桑折町	1,079
53	猪苗代町	1,084
54	相馬市	1,107
55	会津若松市	1,193
56	北塩原村	1,209
57	いわき市	1,227
58	福島市	1,229
59	郡山市	1,280
60	檜枝岐村	1,368
	平均	1,071

【参考】

全国ベスト3

1位	徳島県佐那河内村	296g/人・日
2位	福島県葛尾村	299g/人・日
3位	福島県飯館村	307g/人・日

(注) 網掛けは、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は27市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が345g少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の網掛け部分及び第2編統計データ編「8 平成19年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	786 (27)	1,131 (33)	-345
人口50,000人以上の市町村の排出量	1,007 (1)	1,171 (9)	-164
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	792 (11)	968 (10)	-176
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	606 (11)	762 (7)	-156
人口5,000人未満の市町村の排出量	612 (4)	772 (7)	-160

※()内は市町村数

(2) ごみの分別収集状況について

各市町村においては、平成9年度からの容器包装リサイクル法が本格施行されたことなどにより分別収集が進んでいます。

平成19年度の状況は表-9のとおりであり、21区分から8区分まで分別収集が行われています。

表-9 分別収集の状況

分別数	市町村名	市町村数
21	双葉町	1
20	三春町	1
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、檜枝岐村	6
16	鏡石町、喜多方市、磐梯町、会津坂下町、会津美里町、飯館村	6
15	国見町、田村市、天栄村、小野町、西会津町、猪苗代町、湯川村、柳津町、新地町	9
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、三島町、下郷町、南会津町、南相馬市	11
13	飯野町、北塩原村、只見町、いわき市	4
12	福島市、郡山市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、	7
11	相馬市、桑折町、川俣町、金山町、昭和村	5
8	広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村	7

(注1)分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2)合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成19年度のごみ処理フローは図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は772,209 tで、このうち、直接焼却処理された量は645,545 t (83.6%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は76,079 t (9.9%)となっています。

最終処分された量は109,387 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が99,202 (90.7%)、直接最終処分された量が10,185 (9.3%)となっています。

総資源化量は132,824 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が40,400 t (30.4%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が48,417 t (36.5%)、集団回収量が44,007 t (33.1%)となっています。また、前年度と比較して約2千t増加していますが、廃棄物処理施設を経て資源化された量が増加したことが要因となっています。

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：t/年)

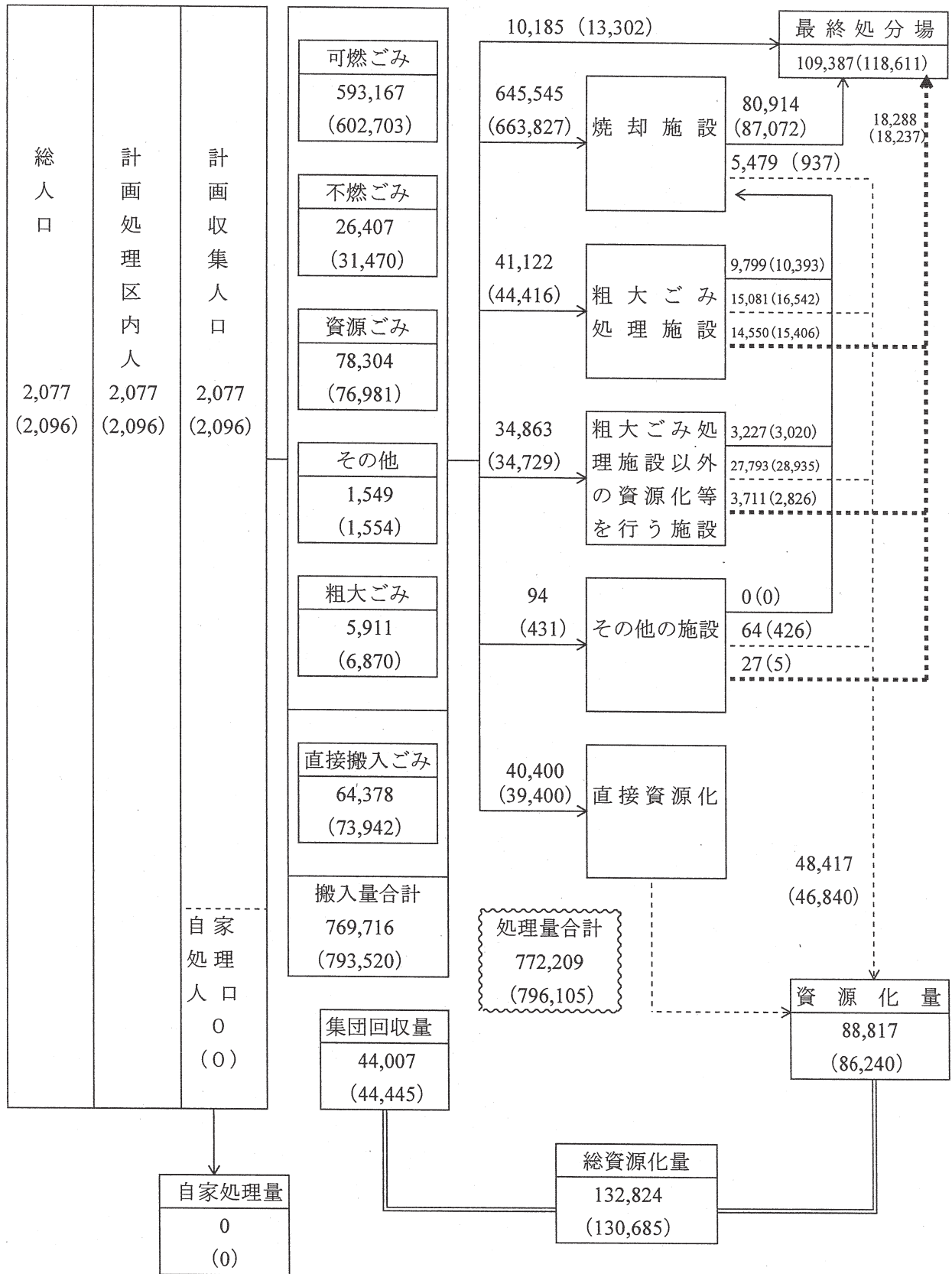


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成18年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率について

リサイクル率及び資源化率とも年々上昇しており、前年度と比較すると、リサイクル率は0.8ポイント、資源化率は0.7ポイント上昇しています。

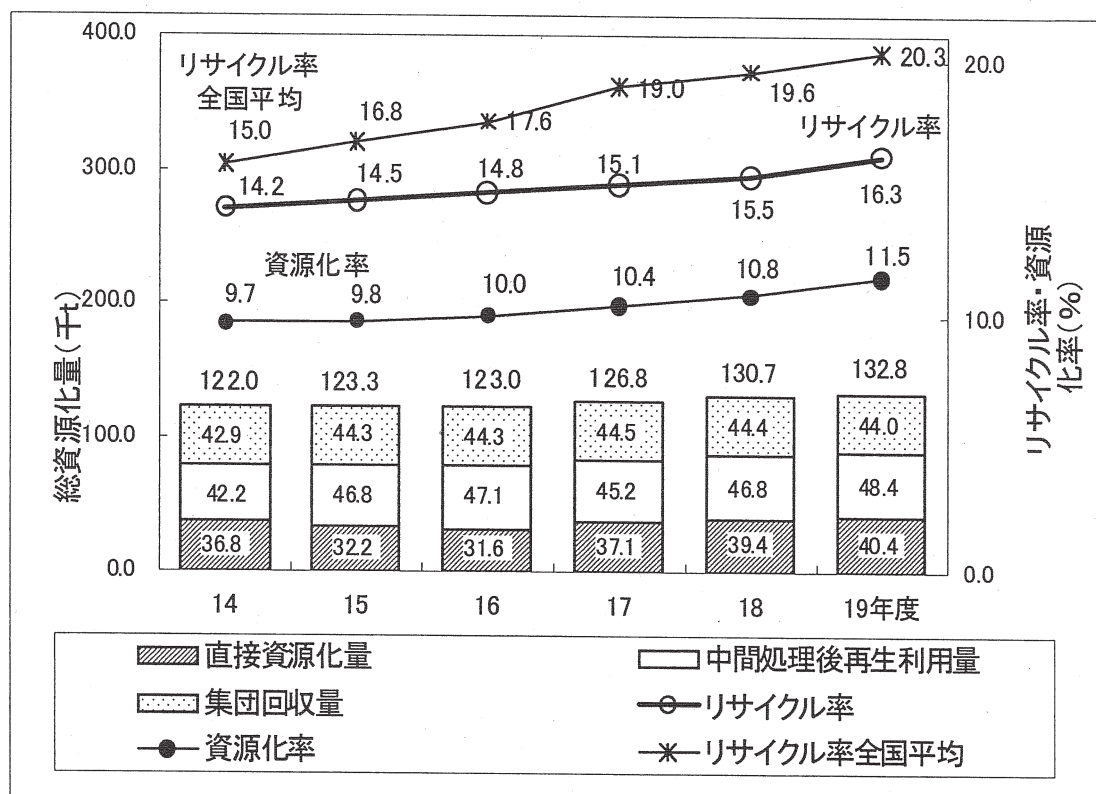


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率（単位：％）

(1) 人口5万人以上 (10市)			(2) 人口1万人～5万人未満 (21市町村)			(5) 全市町村 (60市町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	二本松市	26.6	1	三春町	29.0	1	飯館村	42.0
2	会津若松市	19.3	2	田村市	23.8	2	三春町	29.0
3	いわき市	18.6	3	本宮市	23.7	3	金山町	27.2
4	南相馬市	17.5	4	猪苗代町	19.7	4	二本松市	26.6
5	福島市	15.8	5	会津坂下町	18.5	5	大玉村	25.4
6	須賀川市	14.7	6	桑折町	18.0	6	田村市	23.8
7	伊達市	14.2	7	会津美里町	17.4	7	本宮市	23.7
8	郡山市	13.3	8	国見町	17.3	8	湯川村	23.2
9	白河市	13.1	9	南会津町	16.0	9	飯野町	23.1
10	喜多方市	11.9	10	小野町	15.6	10	西会津町	22.0
	平均	16.2	11	鏡石町	15.6	11	新地町	19.8
			12	西郷村	15.4	12	猪苗代町	19.7
			13	相馬市	13.6	13	葛尾村	19.4
			14	塙町	13.4	14	会津若松市	19.3
			15	富岡町	12.6	15	柳津町	19.1
			16	大熊町	11.9	16	檜枝岐村	18.7
			17	棚倉町	11.8	17	下郷町	18.6
			18	石川町	11.8	18	いわき市	18.6
			19	矢吹町	11.7	19	会津坂下町	18.5
			20	浪江町	9.3	20	昭和村	18.4
			21	川俣町	8.8	21	鮫川村	18.3
				平均	16.5	22	桑折町	18.0
						23	只見町	17.7
						24	南相馬市	17.5
						25	会津美里町	17.4
						26	国見町	17.3
						27	矢祭町	16.6
						28	三島町	16.5
						29	南会津町	16.0
						30	福島市	15.8
						31	天栄村	15.7
						32	小野町	15.6
						33	鏡石町	15.6
						34	西郷村	15.4
						35	川内村	15.1
						36	須賀川市	14.7
						37	浅川町	14.6
						38	伊達市	14.2
						39	泉崎村	14.0
						40	相馬市	13.6
						41	塙町	13.4
						42	平田村	13.3
						43	郡山市	13.3
						44	白河市	13.1
						45	檜葉町	12.6
						46	富岡町	12.6
						47	大熊町	11.9
						48	喜多方市	11.9
						49	棚倉町	11.8
						50	石川町	11.8
						51	矢吹町	11.7
						52	広野町	11.6
						53	中島村	10.9
						54	古殿町	10.4
						55	玉川村	10.3
						56	浪江町	9.3
						57	双葉町	9.3
						58	川俣町	8.8
						59	北塩原村	6.1
						60	磐梯町	5.9
							平均	16.3

(3) 人口5千人～1万人未満 (18町村)			(4) 人口5千人未満 (11町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	42.0	1	金山町	27.2
2	大玉村	25.4	2	湯川村	23.2
3	飯野町	23.1	3	葛尾村	19.4
4	西会津町	22.0	4	柳津町	19.1
5	新地町	19.8	5	檜枝岐村	18.7
6	下郷町	18.6	6	昭和村	18.4
7	只見町	17.7	7	鮫川村	18.3
8	矢祭町	16.6	8	三島町	16.5
9	天栄村	15.7	9	川内村	15.1
10	浅川町	14.6	10	北塩原村	6.1
11	泉崎村	14.0	11	磐梯町	5.9
12	平田村	13.3		平均	15.2
13	檜葉町	12.6			
14	広野町	11.6			
15	中島村	10.9			
16	古殿町	10.4			
17	玉川村	10.3			
18	双葉町	9.3			
	平均	16.7			

【参考】
 全国ベスト3
 1位 鹿児島県大崎町 81.4％
 2位 鹿児島県志布志市 72.8％
 3位 徳島県神山町 70.1％

(5) 最終処分場埋立量について

平成19年度の最終処分量は109.4千tと年々減少しており、前年度の118.6千tと比較すると9.2千t減少しています。(1日当たりでは26tの減少)

また、直接最終処分量も10.2千tと着実に減少しており、前年度の13.3千tと比較すると3.1千t減少しています。

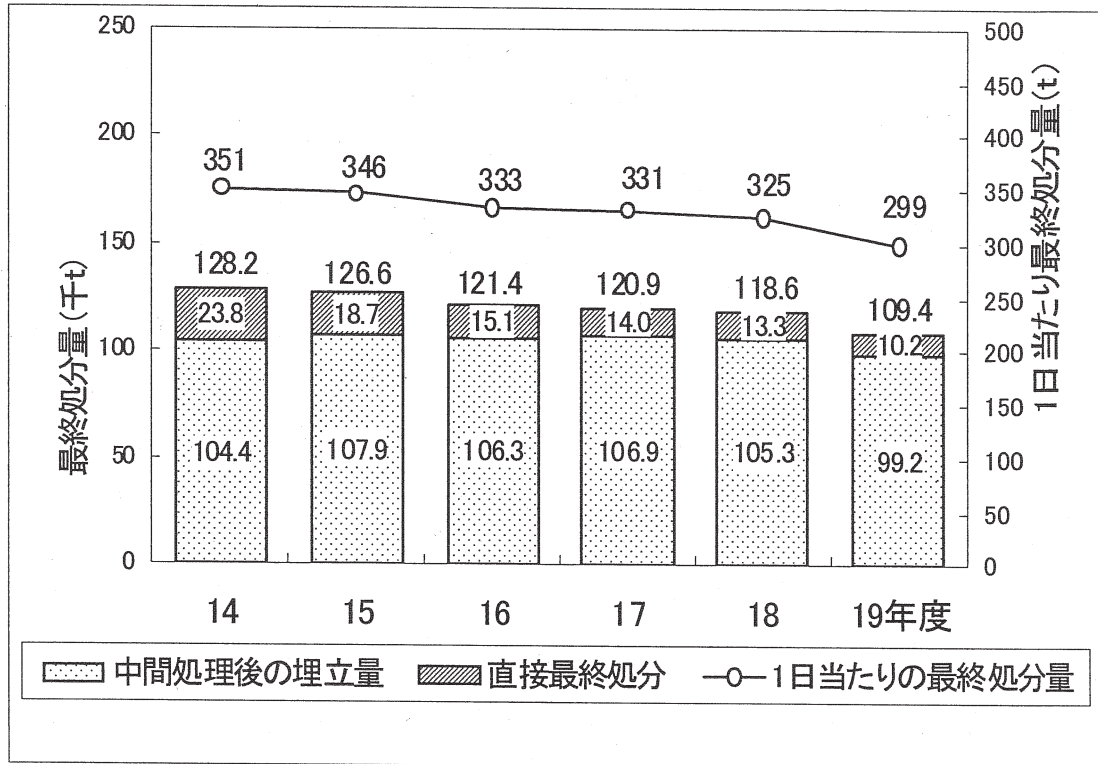


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
a 総人口(人)	2,133,327	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	
b 計画処理区域内人口(人)	2,133,327	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623	
c 計画収集人口(人)	2,122,968	2,115,170	2,116,500	2,109,339	2,096,295	2,076,623	
d 自家処理人口(人)	10,359	10,659	2,126	475	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	34,598,719	20,464,769	19,061,163	20,206,987	21,270,693	25,189,553	
f 建設改良費(千円)	15,616,838	2,663,644	1,595,520	2,452,415	3,266,266	6,806,779	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	18,748,651	17,529,434	17,374,241	17,185,241	17,333,513	17,634,789	
h その他(千円)	233,230	271,691	91,402	569,331	670,914	747,985	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	16,218	9,627	8,997	9,578	10,147	12,130	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,788	8,246	8,201	8,145	8,269	8,492	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	22,912	21,704	22,026	21,607	21,773	22,837	
l ごみ総排出量(t)	862,414	850,876	834,152	840,012	837,965	813,723	
m 1人当たりのごみ排出量(g/日)	1,108	1,094	1,079	1,091	1,095	1,071	
n 計画収集量(t)	819,459	806,441	789,868	795,529	793,520	769,716	
o 収集ごみ量(t)	761,776	738,129	722,271	728,987	719,578	705,338	
p 直接搬入量(t)	57,683	68,312	67,597	66,542	73,942	64,378	
q 生活系ごみ搬入量(t)	548,809	546,766	531,985	538,923	542,071	535,651	
r 事業系ごみ搬入量(t)	270,650	259,675	257,883	256,606	251,449	234,065	
s 自家処理量(t)	3,621	2,839	1,787	187	0	0	
t ごみ処理量(t)	818,280	807,674	788,807	795,362	796,105	772,209	
u 直接焼却量(t)	679,977	677,759	663,885	665,601	663,827	645,545	
v 直接埋立量(t)	23,821	18,700	15,133	14,030	13,302	10,185	
w 資源化等の中間処理量(t)	77,629	79,038	78,164	78,565	79,576	76,079	
x 直接資源化量(t)	36,853	32,177	31,625	37,166	39,400	40,400	
y 資源化量(t)	79,108	78,994	78,697	82,328	86,240	88,817	
z 集団回収量(t)	42,955	44,435	44,284	44,483	44,445	44,007	
aa 資源化率(%)	9.7	9.8	10.0	10.4	10.8	11.5	
ab リサイクル率(%)	14.2	14.5	14.8	15.1	15.5	16.3	
ac 1日当たりの最終処分量(t)	351	346	333	331	325	299	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/日)	1,166	1,166	1,146	1,131	1,116	1,089
	資源化率(%)	11.3	12.3	12.8	14.1	14.6	15.2
	リサイクル率(%)	15.9	16.8	17.6	19.0	19.6	20.3

(注) $i = (e/b) \times 1,000$

$j = (g/b) \times 1,000$

$k = (g/t) \times 1,000$

$l = n + z$

$m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※平成15年度及び平成19年度は「365」を「366」として計算した。

$n = q + r$

$aa = (y/t) \times 100$

$ab = (y+z)/(t+z) \times 100$

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成19年度の水洗化率は84.6%と年々増加しており、下水道による水洗化率は38.4%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は46.1%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は23.1%）となっています。（P19参照）

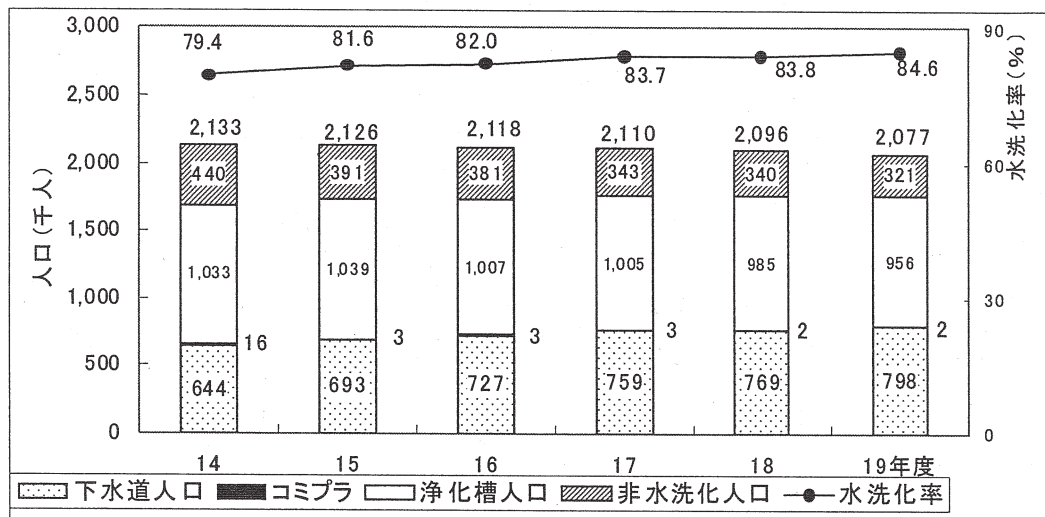


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成19年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は636,738 kℓで、前年度の657,052 kℓと比較すると20,314 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は595,837 t（93.6%）、下水道投入が39,126 kℓ（6.1%）、自家処理量が1,775 kℓ（0.3%）となっています。

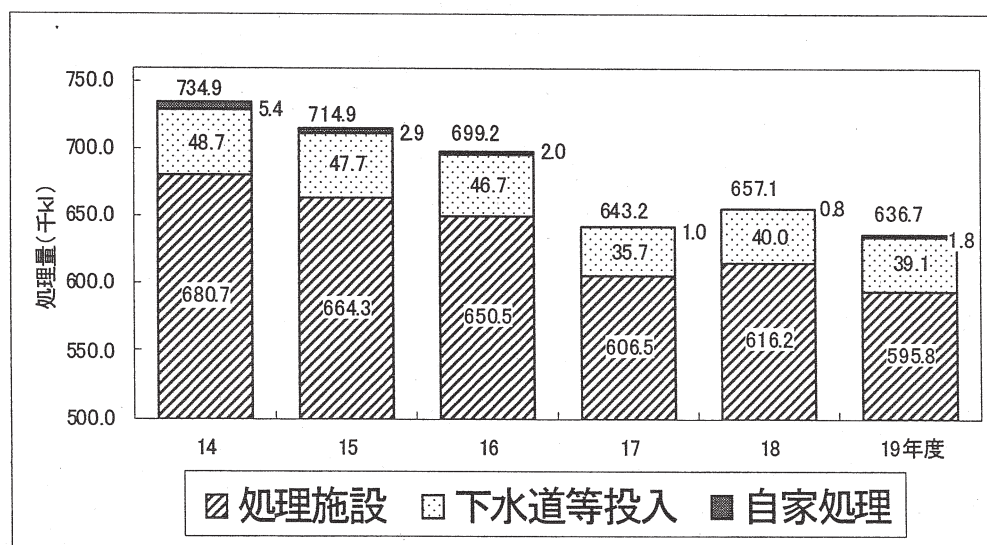


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：k l / 年)

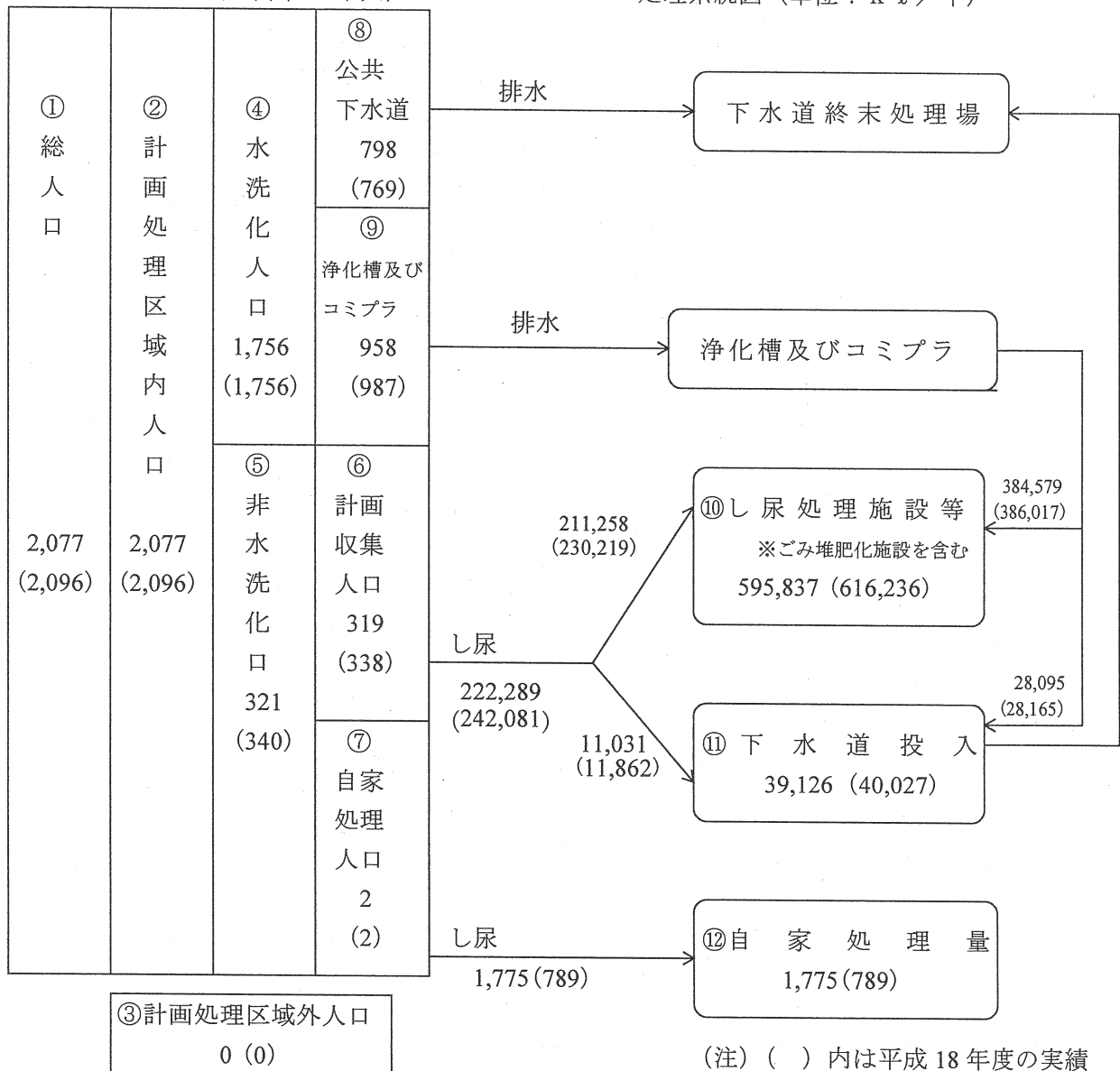


図-8 し尿処理のフロー図

(人口ベース)

計画区域率	②/① = 100.0% (100.0%)
水洗化率	④/① = 84.6% (83.8%)
非水洗化率	⑤/① = 15.4% (16.2%)
計画収集率	⑥/① = 15.4% (16.1%)
自家処理率	⑦/① = 0.0% (0.0%)
公共下水道水洗化率	⑧/① = 38.4% (36.7%)
浄化槽及びコミプラ水洗化率	⑨/① = 46.1% (47.1%)
計画収集率	⑥/⑤ = 99.4% (99.5%)
自家処理率	⑦/⑤ = 0.6% (0.5%)

表-12 し尿処理の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
a 総人口(人)	2,133,327	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623
b 計画処理区域内人口(人)	2,133,327	2,125,829	2,118,626	2,109,814	2,096,295	2,076,623
c 水洗化率(%)	79.4	81.6	82.0	83.7	83.8	84.6
d 水洗化人口(人)	1,692,894	1,734,914	1,737,423	1,766,762	1,756,592	1,755,857
e 公共下水道人口(人)	644,410	692,543	727,235	758,954	768,879	797,919
f コミュニティプラント人口(人)	15,712	3,212	3,080	2,920	2,543	2,420
g 浄化槽人口(人)	1,032,772	1,039,159	1,007,108	1,004,888	985,170	955,518
h 合併処理浄化槽人口(人)	389,963	393,590	406,076	439,276	443,236	479,941
i 非水洗化率(%)	20.6	18.4	18.0	16.3	16.2	15.4
j 非水洗化人口(人)	440,433	390,915	381,203	343,052	339,703	320,766
k 計画収集人口(人)	433,091	385,737	376,948	340,695	337,953	319,162
l 自家処理人口(人)	7,342	5,178	4,255	2,357	1,750	1,604
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	734,980	714,970	697,161	643,205	657,052	636,738
n し尿処理量(kl/年)	734,980	714,970	699,214	643,205	657,052	636,738
o 計画処理量(t/年)	729,507	712,078	697,221	642,223	656,263	634,963
p し尿処理施設(kl/年)	680,758	664,351	650,530	606,523	616,236	594,275
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	0	0	0	1,562
r 下水道投入(kl/年)	48,749	47,727	46,691	35,700	40,027	39,126
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0
t その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0
u 自家処理量(kl/年)	5,473	2,892	1,993	982	789	1,775

(注) $c = (d/b) \times 100$
 $i = (j/b) \times 100$

(3) 浄化槽の設置状況について

平成19年度の新設浄化槽基数は 4,761 基（対前年度比 85.4%）と、表-13 のとおり年々減少しています。

また、平成19年度末における浄化槽設置基数は 272,178 基で、図-9 のとおり平成14年度をピークに年々減少しており、そのうち単独処理浄化槽が 187,916 基と 69% を占めています。

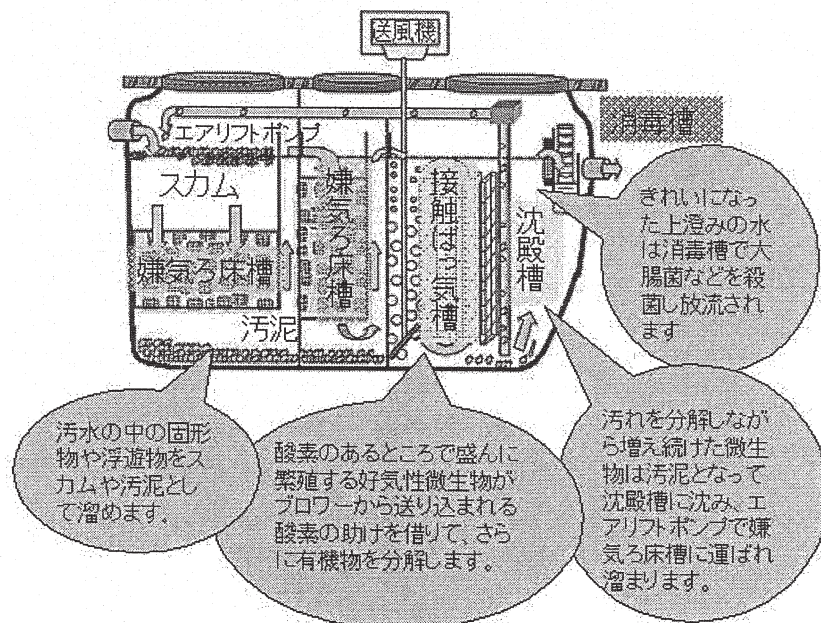
表-13 年度別新規設置基数

年度	14	15	16	17	18	19
基数	6,451	6,373	6,187	5,951	5,574	4,761

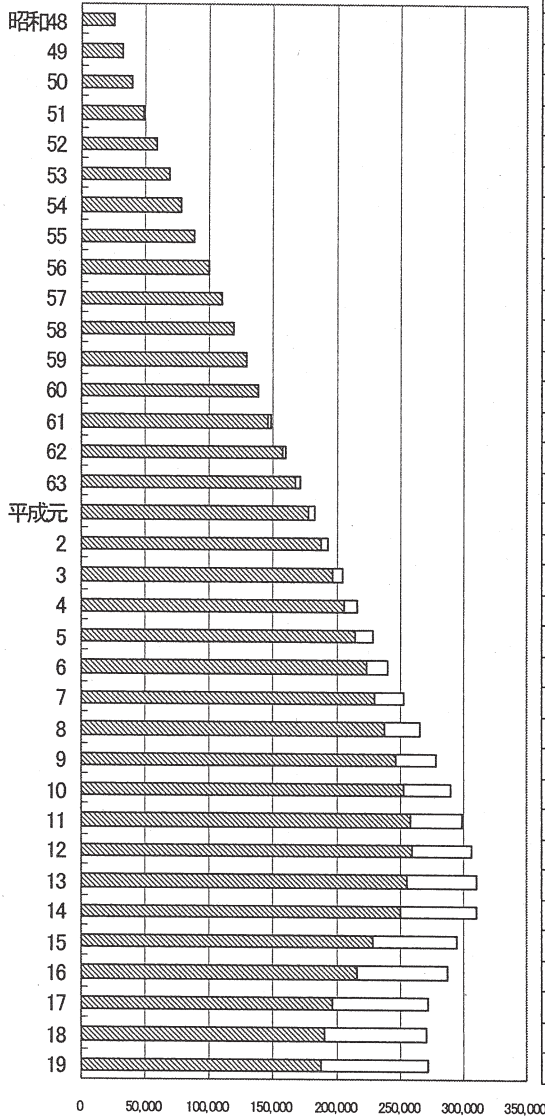
表-14 平成19年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	250,150	18,765	1,668	1,159	436	272,178

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



年度	单独处理净化槽	合并处理净化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178

(基数)
▨ 单独处理净化槽 □ 合并处理净化槽

図-9 浄化槽設置基数の推移